

- 開催日時:令和6年11月19日(火) 午後1時25分～午後3時55分
- 開催場所:遊佐町役場 第4会議室
- 出席委員:齋藤勝広、渡会健、池田生子、斎藤勇喜、大場清悦、谷地由美子
- 欠席委員:石川茂稔、石垣敏勝、伊原光臣、服部正規
- 説明員:教育課長 荒木茂、地域生活課長 太田英敦
- 事務局:企画課主任 瀧口めぐみ

## 1. 開会

### 【事務局】

部会を開会する。欠席の通告は、石川茂稔委員、伊原光臣委員、服部正規委員の4名であり、過半数の出席となっていることから、遊佐町振興審議会条例第6条第3項を準用し、会議の成立要件を満たしていることを報告する。

## 2. 部会長挨拶

### 【事務局】

部会長欠席のため、部会長代理へ挨拶を求める。

### 【部会長代理】

本日は教育課、地域生活課の質疑を行う。部会報告のまとめに入っていければと考えており、円滑な進行にご協力いただきたい。

## 3. 会議録署名委員の指名について

### 【事務局】

本日の会議録署名委員は渡会部会長代理より指名する旨、説明する。

### 【部会長代理】

会議録署名委員に、大場清悦委員と谷地由美子委員を指名する。

## 4. 審議

### 【事務局】

協議の進行は部会長である旨、説明し協議に入る。

### 【部会長代理】

審議の進め方について事務局に説明を求める。

### 【事務局】

本日は前回に引き続き教育課の審議を行い、その後地域生活課の審議に移る。教育課の審議後10分の休憩を取り、概ね15時55分で本日の会議を終了する。質疑が早く終了した場合は全体会に報告する案文の作成作業に移っていく。

### 【部会長代理】

教育課の事業について質疑の確認を行う。

### 【委員】

義務教育の9年はあっという間に終わってしまう。子供の9年間で教育の提供の価値は大きい。1日も早く素敵な教育を提供できることを望んでいる。1日1日の教育の積み重ねの価値でこの地域の教育の結果が出てくる。進学率、偏差値といった目に見えるものを上げていく

ことで、移住を考えるきっかけになりえることだと思う。

**【教育課長】**

義務教育の重要さは認識している。研究授業や講師を呼んでの研修会など、指導主事と一緒にあって、教育の質の向上を図っている。またコミュニティスクールを掲げている中で、地域の行事の参加、地域への理解を深めながら、郷土への誇りを持てるような機会を提供する。学力や様々な体験、そういったものを含めて学校生活を充実させて教育の充実実践に繋げている。施設整備に関しても、中学校が建設して 30 年経過する中で、修繕箇所が増えている。エアコンの整備などで快適な学校生活が送れるように整備を進めていきたい。義務教育の 9 年はあっという間。義務教育を充実させ、いかに未来へ繋げるかという部分が重要と考える。

**【委員】**

その通りだと思う。懸念していることは少子化が急速に進んでおり、ここ 6.7 年で一気に少子化が進んだ実感がしている。それに対する対策は今から必要。

酒田市でも年度途中であるが、出生数が 270 人程度。3 年前だと年間で 500 人いた。急激に崖を駆け落ちるようなイメージ。まだ先かと思っているのではなく、急激に減っているのが現実なので、少子化に対応していく上での教育方針をきちんと持って頂きたい。大変な時代になっていると強く感じている。教育の在り方を少子化という観点から考えていただきたい。

**【委員】**

少子化という全体的な話ではあるが、教育課としてどう考えるか。

**【教育課長】**

少子化については全庁的な対策をしなければならない。教育課としては、教育の充実・子育て支援といった部分での対策を行っていく。遊佐町で子供に教育を受けさせたい、遊佐町で子供を育てたいといった、小学校に入る段階で酒田や都会から帰ってくる方を増やすべく教育の充実をきちんと考えていきたい。規模が縮小される分、一人一人が輝ける教育に力を入れていきたい。中学校では、今年も学習支援塾を 9 月に開講した。学力の向上の受皿となり、全体の受験に向けた機運向上繋げていく。都会からの移住相談の際に、町に無料の塾があることで、驚かれることもあった。色々な面で学習の充実に取り組んでいきたいと思う。

**【委員】**

鶴岡にある中高一貫校に受験させるための環境をつくりたいということで一家移住する方がいる。小中高を含めて、子どもを入れたいという魅力ある教育づくりに取り組んでほしい。子どもがいなければ町は発展しない。

**【教育課長】**

中高一貫校もそうだし、スポーツの関係ではほかの地域に行くという事例はあるが、遊佐町で学ぶ良さや魅力はPRしていきたい。遊佐中学校だと地域のまつりへの参加などを通じて、地域やおとなと付き合いの中で社会性を身に着けることを学んでいる。地域に根差した教育・子育てを推進していきたい。

**【委員】**

県外から遊佐高校に来た生徒が卒業後に遊佐に残った人数は把握しているか。

**【教育課長】**

1 期生が 2 名酒田に進学したという実績は聞いている。遊佐高校は地元就職が多いと聞いている。人材確保が重要な中、働き手がないという声もあるので、高校生と企業とのマッチングも大事だと思う。

**【委員】**

山形県内はどこも自然は豊かで遊佐と条件は同じ。その中で遊佐の魅力として何をアピールしていくべきかと言われれば、学力だと思う。教育のまちと打ち出すことで、それに付随して親が移住する方は必ずいると思う。学校の先生も遊佐の教育環境は良いという話をしており、働きやすいと言っている。ただ、環境が良くても、学力がなければ次のステップが見えてこない。学校の先生たちと協力しながら学校の学力向上という方針で頑張ってもらいたい。わざわざ遊佐町に行っても、子どもの教育のために遊佐に住もうと思えるような教育現場にしていってほしい。

**【教育課長】**

中学校としても学力向上は取り組むべき重要な課題。自分たちの頃は半強制的に自学をしていた時代だが、今はどちらかといえば子供のやりたい気持ちを伸ばす教育にシフトしている。とはいえ、学習習慣を身につけるような取り組みは学校で進めているとのこと。施設改善などの要望にも応えつつ学習環境の充実に努めたい。

**【委員】**

支援員などの配置もしているので、活用しながら進めてほしい。

**【部会長代理】**

他に教育課へ質疑がないことを委員へ確認。  
地域生活課の事業について質疑の確認を行う。

**【委員】**

栄橋について、撤去する予定で多額の予算が投じられているが先般の雨で一部が流れたと聞いたが、それをもって予算が縮小することはなかったのか。

**【地域生活課長】**

10径間の木橋部分を撤去しようとしていたが今回の災害で5径間分が流された。流される前に入札・発注をしていたが、流された分は当然数量が減るので予算は減るが、流されたことにより、水中の調査が必要となった。調査費用が潜水土、探査機などを使用するため、それなりの額が調査費用ということで上積みが必要。現在、減る経費増える経費を差し引きして、当初契約額からどうなるかという金額を現在算出している。

**【委員】**

今回の大雨災害で桑蚕から上の道路が陥没したり、スクールバスが宮山坂から迂回したり、杉沢地内でも交通の便が不便ということ。主要道路なので修繕、修復を頂きたいと思う。宮山坂は勾配がきつい坂だし、冬になって何も起こらなければと思っているが、実際の状況はいかがなのか。

**【地域生活課長】**

前回の産業課の質疑の際にも、農地、林道、農道の被害がかなり多いという話だと思うが、地域生活課でも国の補助をもらうために災害査定というものを受けたが、その箇所は20箇所。すべて町道。その他町単で実施するものは発注しており復旧している箇所もかなりある。災害査定を受けた20箇所は、11/1広報の回覧で、具体的な復旧の日付はお知らせできていないが、年内・年度内に復旧ということでご案内している。20か所のうち11か所はすでに発注しており、年内をめどに業者さんから頑張ってもらいたい。

9箇所は実施設計をするコンサルが、酒田や県での業務が重なり、忙しいということで、その実施設計ができ次第速やかに発注し、年度内に完了させたい。杉沢、金俣、広野、など山

手は被害がひどかったので、住民の方に不便をおかけするが、できるだけ早く復旧できるように動いている。

【委員】

除雪などにも影響すると思うので早めの復旧をお願いしたい。

【委員】

八ツ面川の環境整備事業について、R7 年度には東屋撤去が計画されているが、単純に撤去だけなのか。全体的な整備計画について。

【地域生活課長】

八ツ面川は平成 5 年から 10 年にかけて整備した。イバラトミヨや水生昆虫等の希少種が生息している。今年度は荘内銀行前、岡田尻引など堆積が酷い箇所を浚渫を実施予定。来年度は、遊佐病院前の東屋が、基礎が水に漬かっているため腐れやすいという状況で補修するにもかなり金額がかかり、これを撤去する予定。建て替えではなく、撤去。

次年度以降も、土砂がたまりやすいので計画的に浚渫はしていこうと計画している。憩いの場ということであるが、財政状況もあり、新たな東屋の設置は考えていない。管理してもらっている流域の区長さんたちからも、要望は出ていないので、今後財政状況や流域の方と意見交換をしながら整備の在り方は検討していきたいと考えている。

【委員】

集落の方は草刈りなどはやっているのか。

【地域生活課長】

草刈りは集落の方からやっていただいている。

【委員】

八ツ面川は今回の大雨で氾濫手前まで水位が高くなり、氾濫する川と思っている。イバラトミヨと浚渫どちらが重要かとう話になっているが、流域近くに住むものとしては水が溢れないか心配している。何らかの手段を講じていただきたい。

【委員】

八ツ面川流域環境整備事業に関して、イバラトミヨが棲める環境を守りつつ浚渫をしていかないと、そもそも棲めない環境になってしまう。整備と生物共生との調整をしながら進めてほしい。河床が上がってくると災害の危険性も上がってくる。メンテナンスも含めて管理をしっかりしてほしい。

【地域生活課長】

荘内銀行前も踊り場があつて、それも憩いの場ということで設置したが、町のメンテナンスがどうだったかという問題もあるが、その踊り場が堆積の原因になったので撤去した。水草も必要以上に繁茂してしまったことがあり、流域の地域の方から草刈りなどしてもらう必要があつた。そういったことも念頭に置きながら、関係者との調整を図りながら対応したい。

【委員】

今回の大雨で橋げたや堤防に流されてきた木がまだだいぶ残っているがそれらの撤去の予定は。

【地域生活課長】

橋脚に立木やごみなど引っかかっている場所がある。今、鮭が上ってくる時期になったので来年度あたりにならないとできないと思っている。町としては河川管理者である県にどうにかしてほしいが、県からは橋梁管理者である町と言われており、町が実施することになるかと考えている。

【委員】

景観にも絡んでくるので、県と協議しスムーズな撤去をお願いしたい。

**【委員】**

杉沢本線が中学校の通学路になっている。自転車通学する生徒の多くは、大楯の集落を通過して通学していると思うが、横断歩道がちょうどゆるいカーブのところにあり、その右側に交通島があるが植木が生い茂っており、横断歩道で待っている人がとても見えにくい。横断歩道があるから車両は注意はするが、杉沢方面から結構早いスピードで降りて来る車がある。交通島の撤去をして見やすくしたい、歩道を伸ばして正面玄関あたりで横断できるようにするなど何らかの対策をしてもらいたい。

**【地域生活課長】**

杉沢本線は町道なので、町管理の道路。交通島があるのは承知しているがその管理が集落になっているのかそこを確認したい。交通安全施設ということで、道路の外側線、センターラインなど町で引いているので、子供たちの通学路といった意味で安全かといった検討は教育課と行っている。今後そういった会議があるので、相談して進めていきたい。

**【部会長代理】**

他に質疑がないことを確認し、地域生活課の質疑を終了する。14時55分まで休憩とする。

」

14時55分まで休憩。

各課長退席。

**【部会長代理】**

これより全体会に報告するための部会報告書の検討へ移る。

**【事務局】**

過去3か年の部会報告書を配布。

**【部会長代理】**

これまでの質疑を基に部会報告をまとめていきたい。各委員からの意見を伺う。

協議のうえ、以下のとおり報告事項案とする。

- 1、学力向上を目指す「教育のまち遊佐」について
- 2、洋上風力発電事業による地域活性について
- 3、災害に強い安心安全なまちづくりについて
- 4、松くい虫の防除の徹底について
- 5、あわび陸上養殖事業の継続性の是非について

**【部会長】**

これまでの意見で出た5項目について部会報告に盛り込みたい。以上をもって本日の審議を終了する。

5、その他、6、閉会

**【事務局】**

当初11月26日(火)に第4回部会を開催予定であったが、報告書案の送付に代えることとし、次回は12月10日(火)とする。意見、修正がある場合は必ず事前に意見を頂きたい。最終の報告書の取りまとめ、会議録署名を行う。